

## 本県高校生、ケネディ大使と懇談 「日米の懸け橋に」

ツイート 17

Like 6



【東京支社】日米の若者の教育・文化交流を支援する「トモダチイニシアチブ」で米国研修に参加した被災3県の高校生と大学生は13日、駐日米大使公邸でキャロライン・ケネディ大使と懇談した。ケネディ大使は「日米関係の強化に向けて皆さんが重要な役割を果たす」と激励した。

本県の9人を含む11人が出席し、研修の感想や将来の抱負を語り合った。盛岡一高2年の中馬悠子さんが「国連に行き、海外で働いてみたいと思った。将来は外交官になりたい」と話すと、ケネディ大使は「私もこの仕事が好きですよ」と笑顔で応じていた。

盛岡二高2年の川守田智美さんは「米国で視野が広がり、沿岸と内陸の高校生をつなぐ活動を始めた。山田町での被災経験や今の活動を伝える機会をもらえてうれしい」と感謝。大船渡高1年の古座拓磨君は「日米をつなぐ大使の強い責任感が伝わってきた。米国での研修をしっかりと自分の糧にしていく」と決意を新たにした。

【写真＝被災地の高校生らと交流するケネディ駐日米大使（左から2人目）＝13日午後、東京都港区の大使公邸（代表撮影）】

(2013/12/14)

岩手日報

[http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20131214\\_4](http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20131214_4)